

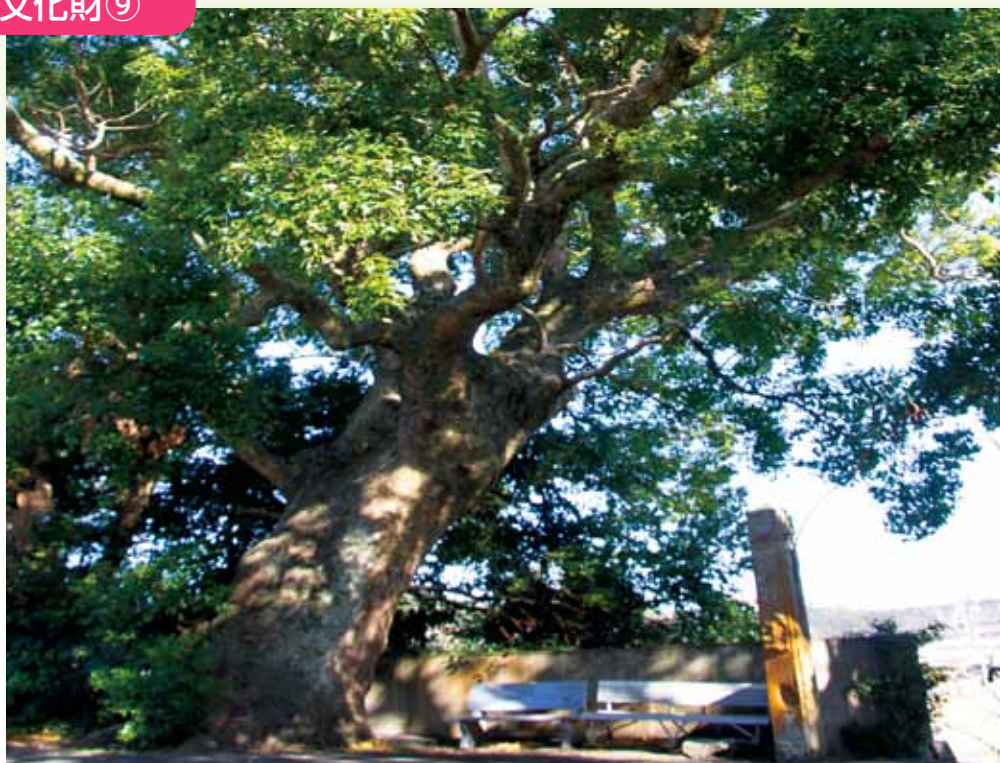
しまし 議会だより

Shimashi
Gikai

第57号

2019. 2.15

志摩の文化財⑨



隣江寺のクスノキ 市指定天然記念物

磯部町坂崎にある隣江寺境内の階段を登り切った場所にクスノキがあります。地上から 1.5 m の高さの幹周囲長が 3.6 m もある大樹です。クスノキはクスノキ科の常緑高木樹で、関東地方以西の本州から四国、九州にかけて生育しています。1 年を通して葉が茂りますが、春に新しい葉が伸びると、古い葉は役割を終え、一斉に落葉します。樹皮は暗灰褐色で、花は 5 ～ 6 月に咲き淡黄緑色をしています。果実は球形の液果で 10 ～ 11 月に黒く熟します。平成 11 年 12 月 24 日、旧磯部町指定天然記念物に指定されました。
(参考:志摩市の文化財)

主な 内容

任期付職員の弁護士任用 可決	2
里海推進室を SDGs 未来都市推進室へ 否決	3
一般質問「市政のここを聞く!」	8
こんにちは志摩びとさん	22

任期付職員の 弁護士任用へ

平成31年4月
任用予定

可決



12月定例会

三度目の上程で ついに可決

行政の外部から、高度の専門的な知識経験を備えた人材を任期を定めて採用できるようにするため、一般職の任期付職員の採用等に関する条例を制定するものです。

「地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律」および「地方公務員法」の規定に基づき、職員の任期を定めた採用および任期を定めて採用された職員の給与の特例に関し必要な事項を定めています。

この条例は弁護士を市職員として任期を定めて採用するとして過去に二度上程されましたが、いずれも否決されました。しかし、時間の経過とと

12月定例会を11月29日から12月21日まで23日間の会期で開催しました。今定例会では、一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定や、平成30年度一般会計補正予算（第5号）および（第6号）を含む23議案を可決しましたが、行政組織条例の一部改正については否決しました。また、一般質問では13人の議員が活発な議論を展開しました。

もに、弁護士は元よりそれ以外の任期付職員の採用も今後必要となる可能性が高くなり、必要不可欠な状況にあるとの判断から、今回三度目の上程で全会一致で可決となりました。

問 任期付職員の弁護士任用後も顧問弁護士と委託契約をしますか。その業務の違いは何ですか。

答 初動的な法務相談、法的アプローチが必要な空き家対策等の施策、債権回収等の業務には任期付職員の弁護士が対応します。

任期付職員では対応が困難な案件、訴訟に発展するおそれのある案件、訴訟対応は従来の顧問弁護士が対応します。
問 任期付職員の選考はどのように行いますか。

給与はどのようになりま
すか。

答 弁護士については公募ではなく、顧問弁護士からの推薦による採用を検討しています。給与は年齢、経験年数等と他の自治体の実例を総合的に判断し、条例第7条の給

料表の2号給42万2000円、3号給47万2000円あたりを想定しています。

その他の任期付職員は、職種に応じて競争試験または選考による採用を検討しています。

弁護士の主な業務内容



- 市の政策にかかる法的妥当性や法令適合性の検証
- 債権の管理、回収
- 法制執務相談
- 職員の法令順守および法務能力向上等研修
- 行政対象暴力、不当要求に対する対応
- 行政不服審査における審理員

問 弁護士以外に、将来任期付職員を採用する予定はありますか。

答 弁護士は平成31年4月に任用を予定しています。

保育士、幼稚園教諭の育休等による代替としての任用は、2020年4月に導入される会計年度任用職員制度に合わせて活用することを考えています。

国体業務に従事する職員についても2020年4月から任用することを考えています。

※会計年度任用職員制度
一般職の非常勤職員の任用等に関する制度が不明確であったことから、フルタイムやパートタイムの任用等に関して、その採用方法や任期等を明確化しました。

里海推進室を SDGs未来都市推進室へ



否決

里海推進室との 整合性をただす

志摩市が平成30年6月に「SDGs未来都市」に選定されたことを受け、その推進体制を強化するための新たな組織として「SDGs未来都市推進室」を創設するため、行政組織条例の一部改正するものです。

行政組織条例の一部改正案は、付託された総務政策常任委員会で審査し、賛成多数で可決しました。しかし、本会議の討論で、「事務分掌から里海の言葉がなくなると、市の各種計画等との整合性が取れない」等の反対意見が出され、採決の結果、賛成少数で否決となりました。

問 「SDGs未来都市推進室」の名称は、市民感覚では何を指しているのか分かりにくい。プロジェクトチームで真剣に考え、市民ニーズにこ

たえる検討をしましたか。

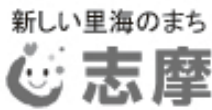
答 SDGsを推進していくことは、世界的な水準において当然のことだという認識にいたるまで、子どもたちや市民に向けて、広く啓発等を行っていきます。

問 里海推進室の業務をどうするのか検討しましたか。

答 各種団体と連携して取り組んできた業務を含め、これまでの業務内容についてはSDGsに包含した形で従来と同様に対応していきます。

問 「里海推進」を事務分掌に入れる考えはありますか。

答 国際基準のSDGsの手法を用いることにより、グローバルな視点をもって里海推進を含む業務にあたっていく方向性を示すため、SDGsに統一しました。



※SDGs：2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ（行動計画）」に記載された2016年から2030年までの国際目標。
持続可能な世界を実現するために、2030年までに全ての国や地域で取り組むべき17の目標とそれを達成するための169の具体的な取り組み内容、取り組みの成果を計るための232の指標で構成されています。

本会議での

討 論

討論 反対

西崎 甚吾 議員

組織機構の改革は、市行政改革大綱に基づく協議が大原則で、大綱には新たな行政課題や市民ニーズに即応した政策立案および調整機能を充実強化するため再編を行うと明文化されています。

志摩市は「新しい里海のまち宣言」を日本で唯一行っており、第2次志摩市里海創生基本計画の途中でもあり、平成28年度からの第2次志摩市総合計画には、重点目標として「新しい里海の恵みを市民みんなが生かすまちづくり」が掲げられています。

再度協議し、宣言や上位計画と整合性のある私たち市民にも理解できる改正案を再提案してもらうために、今回の改正案は見送るべきだと思います。

討論 反対

中村 孝司 議員

小手先だけの改正で、課の統廃合や業務内容の精査を含めた抜本的な組織機構の改革になっていないので反対します。

子どもの育ちや学びを支援 「総合教育センター」が 設置されます

志摩市教育推進計画（第1期）に基づき「子ども一人ひとりを大切にする教育」など四つの基本教育目標の実現を目指し、先進的で総合的な取り組みを進める教育の中核機関として、「総合教育センター」を設置するための条例を制定するものです。

また、総合教育センター運営委員会委員へ報酬および費用弁償を支払うため、委員会委員等の報酬及び費用弁償に関する条例を改正します。

センター長は正規職員へ変更

問 センター長を臨時職員から正規職員へ変更したことは、設立準備委員会では協議しましたか。

答 他市の状況も参考に臨時職員で進めてきましたが、議会の意見を参考

に設立準備委員会で協議しました。正規職員を置くことで、より確かな組織とすることができると確認しました。

問 今後保護者への周知はどうしますか。

答 12月から年明け3月まで毎月1回、計4回のチラシの発行を予定しています。



4月に開設する志摩市総合教育センター

各所属、学校を通して、市内の保育所、幼稚園、小中学校の保護者に配布します。また、PTA役員会などでの説明や広報しま3月号への掲載、ケーブルテレビ行政チャンネルでの紹介を考えています。



創意工夫で 新施設は 不要では？

問 教職員の研修形態を工夫すれば、新たな施設は不要ではないですか。

答 教職員が求める質の向上に役立つ研修を実施したり、人数であっても、教職員が自由に学んだりできる場所として、施設を有意義に使用したいと考えています。

運営に 教育指導主事 2名を配置

問 センターの運営内容について、子どもの育ちに関する相談への対応と、教職員の質の向上

への取り組みの二つの内容が明確になっていきます。どのように運営していきますか。

答 教育指導主事を2名配置します。1名は子どもの支援に関わることを自ら研究しながら指導します。もう1名は研修講座の企画、運営に取り組み教育支援を行うことで、教育センターの二つの役割を担っていきます。

運営委員会委員の 人選は？

問 運営委員会委員の構成は想定していますか。

答 現在検討中で、教育関係者を中心に設立準備委員会の委員も視野に入れ、より良い運営を目指して人選します。

本会議での

討 論

討論 反対

坂口 洋 議員

子どもの育ちに関する「子ども支援センター」と、子どもの教育に関する「教育支援センター」という二つの事業を行うことに無理があります。組織のあり方、場所、人、さまざまな点でまだ無理があります。来年度の設立は時期尚早であり、さらに検討すべきです。

討論 賛成

野名 澄代 議員

反対理由に、総合教育センターの場所が大王町で離れていることを挙げていました。しかし相談時に、その場に関係する部署全員が集まる必要はなく、一旦相談を受け、その後関係する部署と連携しながら解決を図っていく。人材についても、市長は議会の指摘を受け、センター長を臨時職員から正規職員に替えたことで問題はないと思います。

教育現場では諸問題に対応する部署がないと、保護者は悩んでいます。

まずは相談できる道筋をつけるためにセンターを設置し、問題が生じたらその都度改善していけばよいと考え、賛成します。



旧成基小学校

空き公共施設を有効活用 旧成基小学校を 代々木高校へ貸し付け

市では学校跡地等の市有財産を有効活用するため、平成29年度に民間事業者からアイデアを求め市場性等を把握する「サウンディング型市場調査」を実施しました。その中で利活用の提案があった

旧成基小学校の貸付先を公募した結果、(株)代々木高校に決定しました。市有財産を無償および時価より低い金額で貸し付けるため、議会の議決を得るものです。

5年間は 無償で 貸し付け

問 貸し付け相手は、

「志摩渚の交番事業」を請け負った法人と代表者が同一ですが、問題はありますか。

答 法人の履歴事項全部証明書や定款により、

事業内容、役員等について確認しました。法人の代表者は同一ですが、事業内容や役員も相違しており、市としては別の法人であると判断しました。

問 5年間無償で貸し付けるとした理由は何ですか。

答 サウンディング型市場調査を実施したところ、無償または減額で貸し付けを希望する提案がありました。有償では応募者がいないことも懸念され、市有地処分等審査会で公募要項を検討し、5年間は無償、6年目からは減額での貸し付けとしました。

問 どのような事業内容ですか。

答 事業内容は広域通信制高等学校の運営です。この法人は、現在も同様の事業を運営しており、さらに事業の充実発展を図り、学校法人化を目指すという提案がありました。

補正予算

第5号

台風21号、24号 被害等を 復旧します

台風被害等への災害復旧費用、人事院勧告に準拠した職員給与の改定など、歳入歳出1億9365万円の増額補正です。

問 防犯灯及び街路灯管理費の施設修繕料206万7000円は、どれだけの件数ですか。

答 台風被害と思われる箇所については、台風21号では大王地区5カ所、志摩地区6カ所、阿児地区3カ所、台風24号では浜島地区2カ所、大王地区6カ所、志摩地区10カ所、阿児地区5カ所、磯部地区2カ所です。

問 小学校の台風被害報告の中に、大王小学校の通学路側溝、法面の改修、鵜方小学校体育館倉庫屋根の改修が入っていない理由は何か。

答 把握が十分でなく、この予算にはまだ計上し

ていません。今後、学校と協議します。

問 観光施設維持管理費の施設修繕料は何ですか。

答 大王町の八幡さん公園東屋の修理、大王崎観光駐車場の屋根の修理、志摩パークゴルフ場の冠水対策等です。

問 栽培漁業推進事業費のアフビ種苗購入費100万円について、アフビの放流はいつ実施しますか。種苗は確保できますか。

答 漁協等と調整中です。早ければ12月中に行いたいと思います。

昨年度からの県内での種苗生産の不調が克服されていません。県外からも種苗を調達するような方法で、予定どおりできるように漁協と調整しています。



台風による倒木の様子

本会議での

討論



討論
反対

金子 研世 議員

この補正予算には職員の給与を増額する予算が含まれています。現状ではまだまだ職員と市民との給与格差があり、この格差は特に子育て世代に広がっていると私は感じています。このような状況下で、職員の給与を増額することなど、私には到底理解できません。

また、この補正予算には災害時における職員の時間外勤務手当の増額も含まれています。これは災害時に情報を共有し、ともに活動しなければならない職員と消防団員との信頼関係を破綻させるものです。

よって、この2点の理由から、この補正予算には反対します。

平成30年度 一般会計補正予算

補正額(第5号)

1億9365万円

補正額(第6号)

3億3669万円

予算総額

262億7888万円

問 この工事を市内業者で行う検討はしましたか。

答 3月に契約し、10日間のゴールデンウィークほか土日を含めて工事をする予定です。

国の平成30年度補正予算(第1号)で、熱中症対策として学校へのエアコン設置にかかる経費が計上され、補助金を要望したところ採択されました。歳入歳出3億3669万1000円の増額補正です。

問 工事は夏休みまでにできる計画ですか。

答 照明器具取替工事等、分けられるものはすべて分けて、市内業者でできるものはすべて市内業者へ発注するということを念頭に置き、協議したいと思います。

第6号

夏までに すべての中学校に エアコンを設置します

議案の審議結果一覧

※紙面の都合上、議案名が省略され、正式名でないことがあります。

●全会一致で議決した議案等

条例	条例制定
議案第 58 号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定 ⇒ P 2 参照

条例	条例改正
議案第 60 号	個人情報保護条例の一部改正…志摩市情報公開・個人情報保護審査会の委員任期を2年から3年に変更するため改正するもの
議案第 63 号	道路占用料徴収条例の一部改正

予算	補正予算
議案第 80 号	平成 30 年度一般会計補正予算(第 6 号) ⇒ P 6 参照

その他
承認第 2 号 専決処分の承認を求めること…平成 30 年度一般会計補正予算(第 4 号)を専決処分したことについて報告し、承認を求めるもの

議案第 71 号	指定管理者の指定(迫子コミュニティセンター大崎会館)…大崎自治会に管理を行わせることについて
議案第 72 号	指定管理者の指定(松山路生涯学習センター)…松山路区に管理を行わせることについて
議案第 73 号	指定管理者の指定(塩屋生涯学習センター)…塩屋地区自治会に管理を行わせることについて
議案第 74 号	指定管理者の指定(船越地区公民館)…船越自治会に管理を行わせることについて
議案第 75 号	指定管理者の指定(うらじろ集会所)…神明自治会に管理を行わせることについて
議案第 76 号	指定管理者の指定(志摩総合スポーツ公園、志摩 B & G 海洋センター)…特定非営利活動法人志摩スポーツクラブに管理を行わせることについて
議案第 77 号	財産の貸付け ⇒ P 5 参照
議案第 78 号	あらたに生じた土地の確認…公有水面埋立により、あらたに生じた浜島町浜島の土地の確認
議案第 79 号	字の区域の変更

●賛否が分かれた議案と審議結果

区分	議案名	委員会付託	山本桂史	下村卓也	井上幹夫	前田俊基	濱口卓	橋爪政吉	中村孝司	大口秀和	渡辺友里夏	上村秀行	金子研世	大西美幸	野名澄代	谷口 覚	山下 弘	濱口三和	小河光昭	坂口 洋	西崎 甚吾	賛成	反対	結果
条例制定	議案第 59 号 総合教育センター設置条例の制定 ⇒ P 4 参照	教	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	14	5	可決
条例改正	議案第 61 号 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 ⇒ P 4 参照	教	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	15	4	可決
	議案第 62 号 職員給与に関する条例の一部改正	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	18	1	可決
	議案第 64 号 市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公費負担に関する条例の一部改正…公職選挙法の改正により、市議会議員の選挙運動でビラを頒布できるようになったことに伴い、作成にかかる費用を市長選挙と同様に公費負担とするため改正するもの	総	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	16	3	可決
	議案第 65 号 行政組織条例の一部改正 ⇒ P 3 参照	総	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	8	11	否決
予算	議案第 66 号 平成 30 年度一般会計補正予算(第 5 号) ⇒ P 6 参照	予	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	16	3	可決
	議案第 67 号 平成 30 年度国民健康保険特別会計補正予算(第 2 号)	予	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	18	1	可決
	議案第 68 号 平成 30 年度介護保険特別会計補正予算(第 2 号)	予	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	18	1	可決
	議案第 69 号 平成 30 年度下水道事業特別会計補正予算(第 1 号)	予	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	18	1	可決
	議案第 70 号 平成 30 年度水道事業会計補正予算(第 1 号)	予	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	18	1	可決

(付託委員会) 総…総務政策 教…教育厚生 予…予算決算 ※中村和晃議長は表決に加わりません。【○：賛成 ×：反対】

一般質問 市政のここを聞く！

一般質問とは、議員が議案とは関係なく市政全般について、市長の考えや意見を求め、事情をただしたり、議員や市民の意見などを述べることをいい、定例会でのみ行われます。

議員一人の持ち時間は60分以内と定められており、議会だよりでは、このやりとりを議員が要約して掲載します。

本定例会では13人の議員が一般質問を行いました。

■ 議員研修会 ■

議会報告会の 先進事例から学ぶ



志摩市議会では、議会の活動状況等について市民への説明責任を果たすとともに、市民との意見の交換を行うため、各地域の住民や志摩市内の高校の生徒を対象に議会報告会及び市民との意見交換会を実施しています。

議会と市民とのよりよいコミュニケーションを目指し、1月17日、愛知県岩倉市で開催された地方議会研修会 in 岩倉市「議会改革第2ステージを考える 東海からチーム議会を目指して」に6名の議員が参加しました。

研修会では、議会報告会の先進事例報告、パネルディスカッション等が行われました。

今後は、研修会で参考になった部分や志摩市議会のできることを話し合い、多くの市民の皆さんに参加していただき、活発な意見交換ができる議会報告会および意見交換会を目指します。

インターネットで 会議録が閲覧できます

市議会では、市ホームページにおいて平成17年11月以降の定例会・臨時会および各委員会の会議録を公開しています。質問等の詳細は、志摩市議会会議録をご覧ください。

なお、会議録の作成には数カ月かかりますので、ご了承ください。

会議録検索システム

URL

<http://www.kensakusystem.jp/shima/index.html>

WEB

志摩市議会 会議録

検索

※平成17年10月以前のものについては、各図書館（室）、各支所に設置の会議録を閲覧してください。

病院改革はどこまで進んだのか



坂口 洋
議員



志摩市民病院

療職確保対策として医学実習生やリハビリ実習生の積極的な受け入れをした結果、2年間で3人のリハビリスタッフの採用につながりました。平成29年度から経営アドバイザーを導入し、経費の節減対策、職員の意識改革、看護師の組織体制の見直し等を行っています。

問 病院改革はどこまで進みましたか。

市長 市の病院事業は平成27年度に市民病院の常勤医師3人と浜島診療所の常勤医師が退職し、事業収支が大きく悪化しました。一般会計から3億9000万円の赤字補てんをしました。医業収益に対する職員給与費比率は141%で、病院運営の継続が厳しい状況でした。平成28年度からは市民病院は2人の常勤医師、浜島診療所は非常勤医師のみで運営する体制とな

り、その状況の中で病院改革に着手しました。平成29年5月に病院事業新改革プランを作成し、2020年度末までに一般会計の赤字補てんをゼロにするための改革を進めています。平成28年度は休床中の一般病床50床のうち20床を療養病床に転換して60床にし、積極的に入院患者を受け入れ、また訪問リハビリステーション事業を開始しました。職員給与については医師給与の適正化を図りました。また、将来の医療職確保対策として

職員採用では、定時採用に加え、1年を通じて正規、臨時職員とも随時募集を行い、医療職員の確保に努めています。平成30年4月に、看護師1人、准看護師2人、診療放射線技師1人、作業療法士1人の計5人を採用しました。その後、5月から10月までの間に、看護師1人、臨床工学技士2人、理学療法士1人の4人の職員を採用し、10月から常勤医師2人の採用を行いました。平成29年度医業収支は、2480万9773円の黒字となり、新改革プランの数値目標を達成することができました。

問 現時点で解決すべき課題は何ですか。

病院事業部長 一番の課題は職員確保です。今後5年間で16人の正規職員の看護師、看護助手が定年を迎え、再任用職員や臨時職員の退職も予想されますので、20人程度の補充が必要です。医療に精通した事務部門の職員

育成等も今後の課題です。

問 24時間365日急患対応できる病院の準備はどこまで進んでいますか。

病院事業部長 看護師の当直による夜間一次救急の実施について検証しています。今以上の夜間救急患者の受け入れには、夜間勤務ができる看護師の確保等の体制強化が必要です。

問 浜島診療所の今後の改革の方向について問います。

病院事業部長 現在行っている訪問診療に加え、



「灯台ワールドサミット in 志摩」のようす

訪問看護も実施しながら、きめ細かな患者対応を目指します。さらに将来的には、医師の複数人体制、看護師の増員で経営改善と在宅医療の強化を図っていくことが目標です。また、浜島地区の要望でもある検診の充実を図り、予防医療にも取り組んでいきたいと考えています。

※ 他に「灯台ワールドサミットの成果」についても質問しました。

市の各分野での未来について



橋爪 政吉
議員

問 学校給食の廃棄の現状について問います。

市長 1日約3400食で4月から10月末までで残飯が2万4672kgあり、給食の総重量の17.62%を占めています。

問 学校給食の廃棄の状況についてどのように取り組むのか問います。

教育部長 ふるさと給食として生産者交流会を実施し、ふるさと志摩への愛着や生産者等への感謝の気持ちを学ぶ機会を設けています。給食のアンケートを小学5年生と中学2年生を対象に実施し

て、子どもたちの思いをくみ取り、学校給食センターで対応できるもの、学校現場の協力を要するものを把握して、毎日の給食が楽しみになるよう取り組んでいきたいと考えています。

問 ふるさと給食は、給食を通して食育の観点から地域愛を育む目的をもった事業であると思いますが、市長の見解を問います。

市長 SDGsの取り組みでも、食品ロスを2030年までに半減させようという目標があります。子どもたちに生産者の思いや話をするこ

とでもたちも生産者の皆さんへ感謝の気持ちを

持ったり、生産者の皆さんへの励みにもなるこ

ともありますので、給食のあり方を追求したい

と考えます。



ふるさと給食

防災支援、防災 受援対策を問う

問 災害時における施設電源のバックアップの現状と課題を問います。

市長 市役所、病院等必要なところには自家発電装置を整備しています。今後は市民サービスに著しく影響を来す施設は、自家発電装置の設置を検討し、注力して対応したいと考えます。

問 災害時の救急医療体制の現状と課題を問います。

病院事業部長 診療時間外は、土日祝日の8時30分から17時まで、土曜日の休日夜間応急診療所が終了する21時30分から翌朝8時30分まで、救急車を使わずに外来診療のみ対応できる一次救急を行っています。災害時を除き台風時等もこの体制は同じです。

問 災害時における基本的な支援と受援の認識を



台風災害

問います。

総務部長 志摩市受援計画の策定は、早々に取りかきたいと考えます。関係機関や関係各課との調整、協議のほか、三重県広域受援計画、志摩市地域防災計画を始めとする各計画書との整合性を図る必要があります。時間が経つにつれて想定されま

すが、2年後の2020年度中の策定を目指したいと考えます。

問 災害時の医療・介護分野での支援と受援の考え方を問います。

健康福祉部長 介護分野は、要介護高齢者、障がい者などの要配慮者が、円滑かつ迅速に避難するための仕組みづくりと、福祉避難所などの避難受け入れ体制の整備が重要であると考えます。ほかの自治体等からの受援についても必要に応じ要請していきたいと思っています。

問 災害時における観光面での支援と受援の考え方を問います。

産業振興部長 避難場所の標識等を設置するほか、Jアラートや緊急速報メール、多言語対応のスマートフォンアプリ「かざすシテイ」を活用して、外国人観光客への情報提供を行っています。旅行者を受け入れる支援と受援の枠組み構築が必要であることから、取り組みを進めたいと考えます。

※Jアラート：弾道ミサイル情報、緊急地震速報、津波警報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を携帯電話等に配信される緊急速報メール、市町村防災行政無線等により、国から住民まで瞬時に伝達するシステム

指定金融機関輪番制は 公費の無駄遣い



下村 卓也
議員

問 指定金融機関輪番制はどう決まったのですか。

市長 志摩市発足の志摩地域合併協議会で議論され決定されました。幹事会までは一つの金融機関に絞って入っていました。が、首長間で多岐にわたる協議を行い、輪番制の提案となりました。

問 組織図にない首長間協議で内容を変更したのなら、合併協議会は正當な審議をする組織となっていたのですか。

市長 種々あるうかとは思いますが、14年間輪番制を取ってきており、課題が引き起こされているようなことはありません。

問 輪番制によるカスタマイズ費用はどれくらい必要ですか。

会計管理者 電算システム関係、印刷等の仕様変更を含め約83万円を見込んでいます。

問 費用の中には人件費が含まれていません。二つの金融機関を比較すると大きな開きがあります。しっかりとした一つの金融機関を指定することが、公金を無駄に使わない方策だと思えますがどうですか。

市長 この場で両行の個別の議論は避けたいと思いますが、総論においてご指摘の部分も考え方の中に入れているものと思っています。

離島住民の交通弱者対策を問う

問 市内の有人離島である渡鹿野島と間崎島の船の利用者に対する交通対策、住民サービスは公平に行われていますか。

市長 間崎島の住民に対しては、国の離島住民運賃割引補助の制度を導入しています。一方、渡鹿野島はこの制度の条件を満たしておらず、補助の対象とならない状況です。現在のところ、ある意味で公平と考えています。

問 渡船業者も重油価格の高騰や消費税増税により運賃の値上げを申し出てきています。市単独でも助成することが公平な行政運営と考えますがどうですか。

政策推進部参事 今後の状況によっては、市独自でも制度を検討したいと思っています。



渡鹿野島渡船

問 渡鹿野航路の運賃は変動制を採用しています。この部分も助成を検討する必要がありますか。

政策推進部参事 料金が時間帯で違うことは認識しています。今後、現状も見ながら十分検討していきたいと思っています。

ふるさと応援寄附金向上に向けた取り組み

問 11月末現在のふるさと応援寄附金受入額はどれだけの額ですか。

政策推進部参事 11月末までの受け入れ額は約3400万円です。

問 総務省の平成31年4月からの制度見直し内容は把握していますか。

政策推進部参事 改正の詳細い内容はまだ発表されていませんが、見直しに從わない自治体に対しての寄附金は税控除が受けられなくなる方向で改正されると聞いています。

問 11月27日現在で13府県24市町が真珠製品を出しています。9月に質問した時より増えています。

総務省からの通知は 願いとしか書かれていません。市長は何度総務省と協議されましたか。

市長 総務省の壁は厚いということ。何度話

をしているかということではなくて、市長のみならず大臣につながるルートや、真珠振興議員連盟の議員および関係する皆さんの方でも、働きかけ等が行われていると思っています。



取り下げた真珠製品返礼品

市長公約を検証する



大西 美幸
議員

問 国民年金で入れる多床の特別養護老人ホームを積極的に誘致とありますが、どのような形を想定し実現しようと考えていますか。

市長 特別養護老人ホームは各市町の介護保険事業計画に基づき県が整備を進めていきますが、完成したものの人手不足のため稼働できないという現状もあり、県ではさまざまな取り組みを行い、その解消を図っています。市でも2021年から始まる第8期介護保険事業計画で、高齢化率や待機者数、介護人材の状況、介護保険料とのバランスなど、総合的な観点から整備を検討していきたいと考えています。

市長 安心して出産、子育てができる環境には、産婦人科診療とあわせて小児科診療の充実も考えていく必要があります。全国的に医師の確保が難しい中、今後も産婦人科の診療体制の回復および小児科診療の充実に向けた要望を引き続き行っていく予定です。

問 市長は市民目線で公平公正な市政運営を行わなければならないと言っています。いまだ解消されない鵜方幼稚園と他の幼稚園との預かり保育時間等の格差を次年度是正しますか。

市長 幼稚園の預かり保育時間については、かねてから指摘されており検討を進めてきました。平成31年度から同一にすることを目指し、必要な手立てを講じています。

問 子育て支援として子どもインフルエンザ予防接種の助成とありますが、開始はいつ頃を予定していますか。

市長 現時点では、季節



性インフルエンザ、おたふくかぜ、ロタウイルス等の胃腸炎について、優先順位も含め一番いい方法を検討し、実施していきたいと考えています。

問 粗大ごみの軒先収集体制とありますが、どのような収集体制ですか。

市長 ひとり暮らしの高齢者も増えている中、ごみ集積所まで運びたくても運べない方に対して一日も早い実現に向けて動いていきたいと思っています。具体策については、廃棄物減量等推進審議会の意見も聞きながら、急ぎ準備を進めたいと考えています。

問 安全な学校づくりとの視点から鵜方小学校の石垣の現状について、すぐさま取り組むべき問題との答弁でしたが、その後の進捗状況を問います。

教育部長 石垣の件は現状も確認しており、来年度に測量・実施設計の予算を計上する方向で検討しています。

問 留学支援・給付型奨学金制度について、留学希望者の総数と男女別数、選考されたのは全員男子生徒でしたが、なぜ女子生徒がいなかったのか問います。

教育部長 中学生の海外派遣事業は、女子11人、男子13人の合計24人の応募がありました。1次選考で願書および応募動機等の作文によって内容を精査し、総得点の高い順から10人を選定



中学生の海外派遣事業でアメリカへ

し、その結果女子が4人、男子が6人となりました。2次選考で個人面談をし、その結果上位6人がすべて男子になりました。

井上 幹夫
議員

児童生徒の通学は 本当に安全か

和具学校前バス 停付近は安全か

問 和具学校前バス停から横断歩道までの間の、狭く危ない状況は把握していますか。

教育部長 非常に危険であるとの認識はしていますが、地域の皆さんの協力や学校の先生にも来てもらい指導をしています。今後も注視しながら対応する必要がありますと思っています。

問 多くの中学生が使っている、信号機のない横断歩道が危ないという現状を把握していますか。

教育部長 その辺りは、今後の課題であると認識しています。

問 和具学校前待合所の2階3階を、垂直避難場所として利用できませんか。

総務部長 国土交通省住宅局長通知の技術的助言によると、垂直避難場所として利用するには困難

な施設であると考えます。今後は、志摩小学校の屋上へ避難ができないか、検討していきたいと考えています。



和具学校前バス停付近

立神地区からの 通学は安全か

問 バス通学とする基準は何ですか。

教育部長 スクールバスの運行は、統合する地区の児童の分布状況に基づき地区単位で選定し、児童の大半が2kmを超える地区について運行する範囲としています。

問 立神地区農免道路に最近信号機もつきました

が、それでも少し危ないと思う状況です。東海小学校から旧立神小学校までちょうど2kmです。なぜ立神地区はバス通学にならなかったのですか。

教育部長 児童の大半が2kmを超える地区についてスクールバスを運行する範囲と定めたため、立神地区はおおむね2kmの範囲と解釈したと考えています。

問 徒歩通学ということとで新しい歩道もできました。しかし、スクールのラインのグリーンのラインは引いてありますが、歩道と車道を分けるようなガードレールはありません。その辺は危ない個所という認識はありませんか。

教育部長 すべての通学路において、細かく完全な安全帯を構築することは非常に難しいと考えていますが、現場を確認し、対応できるか検討していきたいと思っています。

問 2名の通学路安全員の配置ということになっ

ていますが、今後はどうなりますか。

教育部長 本年度末までの予定ですが、現状も踏まえ、通学路安全員の意見も聞きながら、今後の対応は検討していきたいと思っています。

問 いろいろな状況を考えると、バス通学がより安全だと思っています。再考する考えはありませんか。

教育部長 統合によって廃校となった地区からの通学の保障という面もあります。今後どのように払拭されて、統一的に見直しができるかという時期も踏まえて協議をしたと思います。



立神地区 農免道路信号交差点

市全域の安全な通 学路確保の考えは

問 より安全な通学路確保のための課題や問題は何かあると考えていますか。

教育部長 交通安全面では、志摩市通学路交通安全プログラムで、通学路の合同点検を実施しています。今後も継続して行っていくたいと思っています。防犯面は地域や保護者の方々、学校や警察とも連携しながら、子どもたちの通学の安全確保のための対策を今後、講じていきたいと考えています。

※ 他に「南海トラフ地震の発生後の対応」についても質問しました。

どうする生活弱者対策



山本 桂史
議員

粗大ごみ軒先回収

問 検討から1年経過した今、アンケート調査の結果、導入について問います。

市長 県内で粗大ごみの戸別収集を実施しているのは15団体で8市6町1組合となっています。アンケート結果を参考に導入に向け検討し、年内には実施している市町等の現地調査等を行います。戸別収集については、外部委託や職員による収集等の方法が考えられますが、近隣市町の実施状況も参考にさまざまな課題等について、検討、解決していきたいと思っています。費用面、職員の体制等を含めて検討し、廃棄物減量等推進議会の意見を聞き、早い時期に実施したいと考えています。

問 戸別軒先回収は本当に可能ですか。

市民生活部長 高齢社会の進む中、調査結果も参考に鋭意検討して、実施

できるよう最善の方法を考えていきたいと思っています。費用の面、職員の体制、手数料の徴収について検討しています。

問 軒先回収が困難な地域に対して、各自治会が指定した場所に住民が持ち込んだ場合の回収は可能ですか。

市民生活部長 運搬車両が入れない場所、車を運転する人がいない世帯もあります。行政としてもできるだけ市民の要望にこたえられるよう努めていきます。

地域公共交通網形成計画

問 住民懇談会での意見、要望を盛り込んだ計画書



要望を伝えて

ができますか。また進捗状況を問います。

市長 11月中旬には、交通事業者へのヒアリングを実施し、住民懇談会と並行して、基本目標と基本施策の内容検討を行っています。有識者の助言もいただき計画の素案を作成中で、今後、地域公共交通会議で計画策定案を協議し、議会にも説明をしていきたいと思っています。

政策推進部参事 住民懇談会で、バス停の移動や新設、バス路線のフリー乗車も含め、いくつか意見をいただきました。それらすべてを事業者にも説明し、その場所ごとにこういった形で検討できるのか話しています。

交通弱者・買い物弱者対策

問 阿児町内での巡回バスの運行は検討していますか。

政策推進部参事 病院等を巡回するようなものがあれば非常に助かるという意見

をいろいろ聞きました。地域公共交通網形成計画の中で、まずは案として検討したいと思っています。

問 ホテル等の送迎バスを住民が利用したときの事故に対する保険等の検討について、その後の経過を問います。

政策推進部参事 市としても、それを実現する上では、その運行の仕組みについて大崎地区の自治会や志摩地中海村と協議をしながら進めていきたいと考えているところで



まだあるかな

問 各地区から月に1回でも大型スーパーへのバスの運行はできませんか。

政策推進部長 交通網計画ができた後、検討が必要

います。個々の地域特性にあったものを検討していきたいと考えています。



「さよなら」しないで

問 浜島・御座・賢島間の航路廃止について協議会の内容を問います。

市長 志摩マリンレジャーとして代替案を検討していくことで、すぐには廃止しないという話をもらっています。

政策推進部参事 遊覧船のエスペランサなどの活用で定期船の代わりにできないか等、さまざまな意見もいただきましたので、意見を事業者にしっかりと受け止めていただき、全体の中で新たな代替案を考えていくのとこのでした。

予算編成方針の留意事項を順守



西崎 甚吾
議員

問 平成31年度予算編成方針の基本的な留意事項には、「監査委員から指摘された市税増収のための改善策の検討」「民間企業との連携などPPP・PFI等の検討」「徹底した事業予算の検証で、廃止や管理方法等の見直しによる予算の減額」「計画、D実施、C点検評価、A改善のサイクルを高めた予算要求」「業務量、体制面を勘案し、枠配内に収まるよう調整した予算要求」とあります。これらの取り組み状況を問います。

市長 一次産業を含む観光振興の重要性は認識しており、関係部局の連携を深め積極的な予算措置を図りたいと考えています。

市は現在57施設で指定管理者制度を導入し、また多岐にわたる業務委託も実施しています。PPP、PFI等のメリットが期待できる事業には導入を検討していきます。

平成31年度の予算査定

平成31年度志摩市予算編成方針

平成31年度の当初予算編成にあたっては、「志摩市予算編成及び執行に関する規則」及び下記の事項に留意の上、予算要求書等提出書類を作成し提出期限までに提出してください。

4. 予算編成に係る留意事項

(1) 基本的事項

① 予算は、年間総合予算として編成してください。従って年度途中の補正は、原則として「災害等不可避的な要因によるもの、制度改正によるもの、行政運営上緊急に措置しなければならないもの」とします。

※なお、各関係委員の意見や指摘事項等についてはその趣旨をふまえて十分検討し、必要に応じて説明責任を担ってください。

平成31年度予算編成方針

から事業実績等評価改善状況一覧表の作成、提出を義務づけました。査定の中で明確な資料を求め点検と評価や改善ができていくか確認し、事業効果が出る計画が確認していくことで、PDCAサイクルの循環を図っていきます。

また、事業内容を精査し、役目を終えた事業や費用対効果の低い事業を廃止してスクラップ・アンド・ビルドを原則に、現体制において枠配分が確実に執行できる予算要求を行うよう指示しています。

問 平成31年度にその他の収入・財源確保をするためには、ふるさと応援寄附金は予算額を大幅に下回っていることから、戦略を立て直さないと進できません。また、市がプロジェクトするガバメントクラウドファンディングや、企業版ふるさと納税の今後の取り組みも聞きます。

その他の収入等・財源確保の取り組み

※PPP：公民連携事業のこと。
※PFI：民間の資金、経営および技術能力を活用する公共事業の手法。

また、場外馬券発売所・サンアール磯部は、以前には利益の中から交付金をいただいていたことが、廃止に至っています。状況は明らかに好転しています。

市長 寄附金事業については、現在プロジェクトチームを立ち上げ返礼品の品目を増やす作業を行っており、受付の窓口も2業者からさらに増やしていきたいと思っています。

ガバメントクラウドファンディングの取り組みでは、現在「志摩の未来を担う若者の留学応援プロジェクト」を実施しています。

企業版ふるさと納税は企業の意欲や社会貢献の部分でもあり、市の人材養成に企業版ふるさと納税を活用してもらえないか、現在提案を行い取り組みを進めています。

阿児特産物開発センターはスクラップ・アンド・ビルドの視点も含め、利活用を検討しています。

観光農園は平成31年度に契約期間



場外馬券発売所・サンアール磯部

が一部満了するので、抜本的かつ根本的に検討する時期だと考えています。

サンアール磯部は、平成30年度に累積赤字がなくなるとの回答をいただいております。近々、競馬組合の関係者と面談を予定しています。協定書の見直しも含め、施設の利活用についても話し合いを持ちたいと考えています。

市民参加のまちづくり を問う



濱口 卓
議員

一票に託す

意思表示

問 投票所の立地条件によって、投票困難な高齢者の方が増加傾向にあります。投票所削減の現状と考え方を問います。

選挙管理委員会書記長

平成26年度に、選挙の執行体制と執行経費の適正化を図るため、1行政区1投票所でない浜島、和具、鵜方について再編を検討しました。

その結果、浜島、和具については、再編しても投票所が混乱することがないと判断し自治会の理解をいただき実施しました。

鵜方については、再編後の有権者数が7000人を超え当日投票に混乱が生じる恐れがあることから、現行のままとしました。

市内の投票所数は、2地区において再編を行い2力所の投票所を廃止し

た結果、現在42力所となっています。

問 投票所を削減した効果の分析を問います。

選挙管理委員会書記長

再編前後の実績を比較すると、投票所2力所の減少で、投票管理者2人、立会人4人、事務従事者11人の経費で18万4316円の削減となっています。

再編した投票所の投票率は、浜島第一投票区で3ポイント増、和具投票区で1ポイント増となり、再編による投票率への影響は著しいものではなかったと考えています。

問 投票所を削減された地域住民の意見の把握状況を問います。

選挙管理委員会書記長

平成29年に旧浜島第二投票所復活の要望がありました。

現在、浜島町障がい者福祉会からも「ちしろ」へ増設の要望があります。

問 施設にスロ―



旧甲賀小学校避難階段

プや広い駐車場があれば復活できるのかを問います。

選挙管理委員会書記長

基本的には市の公共施設で、選挙が適切に執行できるかどうか確認し、地元の同意が得られる施設であれば可能かと思われます。

※他に「市全体の再編計画、投票支援」についても質問しました。

観光資源としての 英虞湾の有効利用

問 定期船航路の廃止の話がある中、市長の英虞湾を有効利用した観光振興を問います。

市長 現在、外国人旅行者に真珠貝の取り出し作業などが人気を博し、1

000名ほどが訪れています。

それらを観光施策へ取り組み、定期船航路や遊覧船事業などとも連携させることで、英虞湾の有効利用、あるいは観光振興が図られると考えています。

近鉄、志摩マリンレジャー、遊覧船組合等の皆さんと、英虞湾の有効活用などについて議論していきたいと思っています。

津波避難施設への 取り組みは

問 数力所の避難タワーや避難階段の協議・検討状況、浜島幼保園屋上の現地確認後の検討状況を問います。

総務部長 国府自治会へは国府漁業協同組合漁村センターの安全性検証結果を報告し、市と自治会で津波避難施設の方角性について協議しています。

片田自治会とは橋の耐



国府漁村センター避難階段

震、避難路の整備に向けた協議を行い、甲賀自治会へは旧甲賀小学校屋上の安全性検証結果を報告し、津波避難施設整備の方角性について協議しました。

畔名自治会には津波避難タワーの検証結果を報告し、代替策、避難路整備の協議を行っています。

浜島幼保園屋上への避難については安全性の検証が必要であり、平成31年度に行う予定です。

※他に「総合教育センター設置などの保護者への周知」についても質問しました。

市のきれいな海を大切に、 生活排水施策を問う



小 河 光 昭
議員

問 生活排水をよくしたいという思いで、市長の考え方を問います。

市長 下水道の接続率や合併処理浄化槽普及率を向上させるために、工事費用に対しリフォームの補助を組み合わせる、あるいは浄化槽の管理等に民間の力を活用する等、全体的に判断しながら、早期にそのような手立てを講じていきたいと考えています。

「灯台ワールドサミット in 志摩」開催される

問 灯台ワールドサミット in 志摩開催に至った経緯を問います。

市長 明治元年に西洋式灯台が神奈川県で始まり、本年度150年の節目の年を迎えます。この機会を生かして、灯台を切り口としたまちづくりを行うにあたり、参観灯台を有する全国15の自治体に呼びかけました。結果、志摩市を含む4市が発

起人となり、全国で唯一、二つの参観灯台を持つ志摩市で第1回灯台ワールドサミットを開催する運びとなりました。

問 市内から183人、市外から19人、県外から96人の参加があったと聞きました。そのうち、関係市から何人参加がありましたか。また、成果と今後の取り組みを問います。

産業振興部長 3市から46人の参加がありました。
市長 灯台に関する関係団体との連携を図るとともに、観光資源としての灯台の活用を学ぶ機会となりました。今後は、参観灯台を有する他の自治



観音埼灯台

体にも呼びかけながら、関係機関や地域の皆様とともに、灯台周辺の保全や活用の促進を目的として取り組みたいと考えています。

市内の再生可能発電事業の現状を問う

問 平成29年7月1日の「志摩市における再生可能エネルギー発電設備の設置と自然環境の保全と調和に関する条例」施行後、事業申請数と調整済みの件数は何件ですか。

市民生活部長 平成29年度は調整前の事前相談が13件で、うち8件で事業調整を進めており、1件が調整済みです。平成30年度は10月末現在で事前相談が8件です。

調整済み1件については、事業概要書、立地環境に関する調査概要書、保守管理に係る計画書、生活環境および景観保全に関する計画書、撤去及び処分に係る計画書など



矢湾大橋付近の工事現場

の提出を求めて、関係各課とも協議の上、調整を行いました。また、造成計画を指導し、濁水や洪水対策を取り入れた計画等になるよう調整を行いました。住民説明会の開催は自治会に相談した結果、周辺住民に個別に伺って説明するよう変更し、漁協との協議を行うよう調整しました。

問 矢湾大橋付近の太陽光発電事業計画地内に市の側溝があると思います。市の側溝を利用するのに許可は必要ですか。

建設部長 通常の側溝等に放流するには許可は要りませんが、それを加工

する場合は許可が必要で

問 市議会は、「山林を伐採して建設される志摩市内における大規模太陽光発電施設の設置に反対する決議案」を全員一致で可決しました。志摩市自然環境保護審議会は市全体を抑制区域に指定しました。多くの市民も、大規模な太陽光発電に関しては反対していますが、市長の考えを問います。

市長 市をあくまでも立場からしっかりと対応していきたいと思っていますが、法的には現在、事業が可能な状況であるのも事実です。

私たちにできること

志摩市のSDGs

海のプラごみ抑制

今こそ



渡辺友里夏
議員



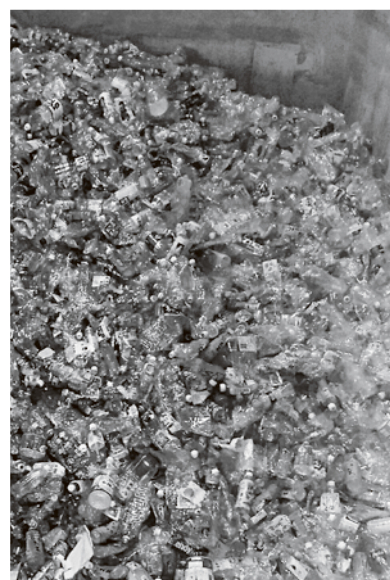
道路わきに捨てられる不法投棄

気、水、土壌への放出を大幅に削減する、「ターゲット5として「2030年までに廃棄物の発生防止、削減、再生利用、再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」となっています。市ではこの目標に沿って、今後ごみの減量化や資源物の

市長 SDGs「持続可能な開発目標」に関連した廃棄物対策として、国を挙げての取り組みは、「使い捨て容器の減量」「未利用・使用済プラスチック資源の徹底かつ効果的、効率的な回収と再利用」「バイオプラス

問 「SDGs未来都市志摩市」の美しい海を維持していくため、捨てられ続けるごみ問題への取り組み、マイクロプラスチック問題、レジ袋有料化、プラスチックストロ―等使い捨てプラスチック容器全廃の考えを問います。

チックと化石燃料由来プラスチックとの代替の促進」の3項目です。SDGsによる取り組みは達成年度や目標が明確化されており、目標12番目、ターゲット4として「2020年まで国際的に合意をされた枠組みに従い、廃棄物の大



やまだエコセンターに集積されるペットボトル

教育部長 SDGsによって環境、人、社会への思いやりを育てることが大切だと考えます。また、将来自分がどのように目標達成に貢献できるかと子どもたちが主体的に考え、行動できるよう学校・地域と連携して取り組んでいきたいと考えています。

問 「SDGs未来都市志摩市」の教育現場における今後の取り組みを問います。

回収に努めたいと考えています。レジ袋の有料化、ストロ―等のプラスチックの排除等について、条例化も含め検討していきたいと考えています。

働きづらさを抱える人の就労を支援

問 ひきこもりから就労までの市の取り組みの現状、8050問題や親亡き後は誰が支えるのか、についての市の考えを問います。

健康福祉部長 ひきこもりに関する相談は、本人や家族の状況に応じた支援ができるよう総合相談体制をとって関係各課で共有し、検討するとともに必要な支援が届くよう役割の確認や関係機関へのつなぎ、および進捗管理を行っています。8050問題は、高齢の両親や親族から親が亡くなった後のことが心配との相談もあり、これからますます高齢化が進む中で、支援につなげていく必要があると考えています。相談の結果により一般就労が困難な方に対しては、個別のケースに応じて支援プログラムを

作成するなど、就労支援を実施する体制を整えています。ひきこもりについては、さまざまな支援が必要なので、相談支援に取り組みながら自立に向けた支援ができるよう努力していきます。

認知症サポーター活躍できる環境整備を

問 認知症サポーターの活動の後押しを考えていますか。

健康福祉部長 認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対し助けをしてくれる認知症サポーターは、平成30年10月末現在で3985人です。高齢化の進行により認知症、高齢者の増加が見込まれることから、あんなしん見守り協力員の登録等、地域での見守りや安全確保等のさらなる強化を図っていききたいと考えています。



前田 俊基
議員

獣害問題、イノシシに加え アライグマ被害の実態も

問 害獣被害が後を絶たずイノシシ被害は拡大の一途です。11月までの被害状況を問います。

市長 有害鳥獣の捕獲頭数は、11月20日時点で920頭、うちイノシシは853頭です。昨年度同時期との比較で4割程度増えています。鳥獣の捕獲には、県への狩猟者登録や有害鳥獣捕獲に関する許可が必要でしたが、その事務は県から市に移譲されており、鳥獣による被害が広がっていることから、平成30年度からは年間を通じて有害鳥獣捕獲の許可を出し、さらに有害捕獲に対して報償金を増額したことが捕獲頭数が増えた要因だと考えます。

問 現時点の被害届け出件数はどのような状況ですか。

産業振興部長 11月20日現在で205件、うち7割程度がイノシシです。また、農地被害はそのうち152件、宅地や道路などが53件です。

問 市は捕獲おりの追加貸し出しなど追加策を考えていますか。

産業振興部長 平成29年度・30年度とも6基ずつ購入しました。志摩市有害鳥獣捕獲対策協議会が所管するイノシシ用の捕獲おりが合わせて96基ありますが、すべて猟友会に貸し出しています。今後も償却期間と実績を踏まえ計画的に購入し貸し出していきたいと考えています。

問 民家などからの被害申し出にはどう対処していますか。

産業振興部長 自宅の庭先の耕作地にも電気柵柵の購入費用を半額補助しています。また、エサとなる物の撤去や石灰をまくなどの手法を紹介し、被害届を提出いただければ捕獲を実施します。

問 イノシシの他にアライグマの被害が出ているようですが把握していますか。

産業振興部長 平成25年頃から数件の届け出があ

り、平成29年度に17件、平成30年度も現在17件の届け出があります。被害届を受け、農林課職員が聞き取りを行い、猟友会の協力で小動物用のおりを仕掛け捕獲しています。

問 アライグマは特定外来生物で取り扱いに厳しい制約がありますが、市民への注意喚起をどのようにしますか。



意外に凶暴なアライグマ

産業振興部長 アライグマは全国的にも急速に分布を広げており、生態系への影響や農業被害も発生し深刻な問題となっています。また、狂犬病を持つ獣種であり凶暴です。今後、広報などを通じアライグマの危険な特性

や被害について広めていきたいと考えています。

創造の森横山休憩舎のあり方を正す

問 休憩舎の中にポスターや広告物が市の検札印がなく張られています把握していますか。

産業振興部長 市の管理する施設なので調査し、市へ届け出のない場合は撤去するか、その団体や個人に連絡したいと思っています。

問 休憩舎の改修計画はありますか。

産業振興部長 平成7年



横山休憩舎

の建築物であり、築20年余りが経過している上、木造で耐用年数も短いため長寿命化の改修を考えます。今後、市で行う「グアオルト健康ウォーキングコース」の活動拠点の一つとして活用したいと思っています。

問 駐車場の拡張工事が先行して行われますが、休憩舎にトイレ表示がありません。また、トイレはすべて和式なのでインバウンドへの対応も含め改修が必要ですが、どのように考えますか。

産業振興部長 国内外の観光客を迎え入れるにあたり大変重要なことだと思います。有効な財源を活用し、早期に改修したいと考えます。

※クアオルト健康ウォーキング・ドイツで心臓リハビリや高血圧の治療に活用されている、自然の野山を活用した運動療法「気候性地形療法」を基本とした健康ウォーキング。

※他に「灯台ワールドサミット」についても質問しました。



野名 澄代
議員

防災・防犯対策を問う

災害時協力井戸の 周辺整備を

問 災害時の生活用水と

なる協力井戸の標識を、担当部局が一部自治会へ配布するのを忘れていたことがありました。前市長時のこととはいえ、災害に対する取り組みが懸念される出来事です。井戸の地図作成から配布まで、また今後の市全体の情報共有について、各課とどのような連携を図りましたか。

市長 平成27年度に、災害時協力井戸の所在を示す標識が配布されてい



旧甲賀小学校にある井戸

災害時協力井戸の家

志摩市

災害時協力井戸の標識

危険な空き家、廃屋の 相談は「空家等対策協 議会」で諮ります

問 台風による空き家の近隣家屋の被害状況と市の対応を問います。

建設部長 台風による相談件数は21号は7件、24号は43件で、主な被害は

問 市所有井戸周辺の除草対策について問います。

総務部長 現在把握している9カ所の中で、井戸の周辺が舗装されているところが6カ所、残る3カ所は井戸の周辺と道路から井戸に行くまでの範囲を、防草シートか簡易的な舗装等で対応していきたいと思っています。

空き家の屋根材や外壁材が周辺住宅や道路に飛散落下したことによるものでした。対応として職員が現場確認を行い、所有者に被害状況を伝え、適切な管理を依頼しました。

問 一例ですが、隣の2階建ての廃屋が倒壊する危険な状態にあり、台風により自宅の屋根が破損しました。所有者は亡くなり相続人はいないと聞きます。この事例に対し、

市はどのように対応しますか。

建設部長 周辺へ悪影響を及ぼす特定空家等については、空家等対策協議会に諮りその中で結論を出すという形になります。相続放棄等された場合は、複雑な法的措置が必要ですので調査し対応していきたいと思っています。

防火対策「監視力 メラ等」設置を前 向きに検討

問 空き家を主軸とした防火対策について、市長の見解を問います。

建設部長 消防署と地域防災室と連携し、防災空地の設置などの対策を自治会の協力を得ながら実施していきたいと考えています。防火対策として、特に火災が多く発生する地域には志摩消防署が年間を通じて月2回、夜間の巡回を実施し、年末年始など火災の発生しやすい時期には回数を増や

しています。

ていただけると聞いています。

問 火災が発生した地区周辺の方々から、抑止力となる監視カメラや防犯灯の設置要望を受けました。監視カメラについては多様な批判があることも承知していますが、防犯・防災の観点から設置に向けた市長の見解を問います。

市長 防犯上の取り組み等では、監視カメラは一定の抑止・抑制効果があるということですので、自治会等と相談しながら設置場所や設置方法等を協議したうえで進めて行ければと思っています。また、車のドライブレコーダー等も抑止効果があるとされていますので、関係機関と協議して抑止効果を発揮していきたいと考えています。

※ 他に「耕作放棄地の利活用と獣害対策」、「空き校舎・校庭の利活用」についても質問しました。

防災行政無線設置に関わる業務について



上村秀行
議員



マスト（防災無線柱）

総務部長 文書目録上では2冊となっておりますが、現在1冊のみ確認ができたということです。もう1冊の確認作業を今も引き続き行っているところです。

問 これまで不可思議な契約についていくつか指摘してききましたが、戸別受信機の実施設業務においても随意契約で、着手から完工までの期間が55日と短期でありながら、請負金額は535万5000円となっています。請負金額は妥当であったか問います。

総務部長 当時の資料、書類を確認する限りにおいては、金額、日数ともに、その当時に適正なものと判断したと考えています。

問 業者はこの施工監理業務も請け負い、設計と施工監理を合わせると約900万円を超える請負金額となっていますが、業務はきちんとしていましたか。

総務部長 書類を確認する中で、適正に行われたものと認識しています。

旧時代の戸別受信機は使えなかったのか

問 戸別受信機の設置工事は6億円という大きな契約ですが、この入札関連資料が現在も不存在ではありませんか。

総務部長 随意契約の実施ガイドラインの中に日数等については明記されていませんが、一定の手続き手順についてはガイドラインに基づきされたものと認識しています。

問 交換したアナログ受信機はどうしましたか。

問 弱電界対策工事の契約について、4700万円の事業がわずか4日で起案から契約がなされていますが、この入札事務は物理的にできますか。

総務部長 随意契約の実

マストをかえる必要があったのか

問 密接な不可分な関係にある同報系無線工事と戸別受信機の工事を分離して発注した理由を問います。

総務部長 検討時期の違いという部分で、同報系の整備の工事と戸別受信機の工事は、それぞれの工事として分けて発注したということだと認識しています。

問 アンテナまで取り換える必要があったのですか。

総務部長 現在の戸別受信機に旧時代のアンテナをつなぐことで、現在の放送を聞くことができますという話も聞いていますが、旧時代と現在のアンテナでは仕様が異なっていますので、電波の

総務部長 回収、再利用していますが、経過年数とともに使用できないと判断したものについては、撤去後、処分をしています。その処分費用については、支払いをしています。



戸別受信機

受信感度が低下するということのようなことから、新しいアンテナを設置したと確認しています。

問 これまでの防災行政無線に関わる一般質問に対しての総括を問います。

総務部長 地方自治法でも、地方公共団体は最少の経費で最大の効果を上げるようにしなければならぬと明記されています。今後、防災行政無線だけでなくすべての事務事業において、議員からの提案を受け止めて業務にあたっていきたいと思っています。

市長 現在も難聴地域についての対応も行っていますが、引き続き指摘のあった部分については真摯に受け止めながら、確認等を行っていきたいと考えています。

こんにちは志摩びとさん

第二の人生志摩でのんびりと

森 正夫 さん
光 子 さん
浜島町迫子



プロフィール
海と山を魅力に感じ、8年前に名古屋からこの地に夫婦で移住。暖炉のある暮らし、シニアソフトボール(夫)やノルディックウォーキング・山登り(妻)を楽しんでいます。

- **志摩市の印象はいかがですか？**
灯台(安乗埼、麦埼)・展望台(横山、磯笛岬)・美しい海岸・伊雑宮・天の岩戸・石仏・祭り(伊勢えび祭、伊雑宮御田植祭、汗かき地蔵まつり)・安乗の人形芝居等、自然が豊かで、素晴らしい景観、歴史・文化が育まれた所ですね。そして新鮮で美味しい、的矢のかき・安乗のトラフグ・志摩の伊勢えび・あこや貝の貝柱など食材がいっぱいです。
- **最近、気になることはありますか？**
再生可能エネルギーは大切ですが、森林や自然を破壊したり、休耕地・遊休地を利用した大型の太陽光パネルがいろんな所で見られますね。里海を守るためにも自然を守りたいですね。
- **志摩市でのお勧めスポット(景色等)があれば教えてください。**
①麦埼灯台の朝日とあづり浜・合歓の郷の海岸の夕日、②我が家から見た横山の稜線そして満天の星空、③磯笛岬展望台とツバスの鐘
- **今後の志摩市についてひとことお願いします。**
若者や子育て世代の仕事があり、安心して住める町。高齢者が生き生きと生活できる町を。風光明媚、文化、海の幸等を生かした志摩市のPRを期待します。

平成31年第1回定例会日程(予定)

2月 27・28日	本会議
3月 5・6・7日	本会議(一般質問)
11日	総務政策常任委員会
12日	教育厚生常任委員会
13日	産業建設常任委員会
14・18・19・22日	予算決算常任委員会
27日	本会議

市役所6階議場・委員会室にて午前9時～
※都合により変更になる場合があります。
詳しくは議会事務局へお問い合わせください。
市のホームページにも掲載しています。

議会トピックス



教育厚生常任委員会から提言書を提出

「障がい者が経済的に自立できる施策への早急な取り組みを求める」

「しまし議会だより」はボランティア団体のご協力で、視覚障がいのある人に音訳(朗読)テープによる広報をお届けしています。

編集後記

昨年は全国的に「災」の年でした。志摩市も台風により建物破損や冠水、長時間の停電の被害を受けました。今年は伊勢湾台風から60年の節目の年です。また年々、南海トラフ地震の発生確率も高くなっています。市民の皆さんが安心して暮らせるように全力を尽くすことが私たちの役目です。議会の動きをお伝えする「しまし議会だより」はこれからも見やすく、分かりやすい紙面づくりをめざします。今後とも皆さんのご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

井上 幹夫

議会広報特別委員会

委員長 下村 卓也
副委員長 濱口 卓
委員 山本 桂史
委員 井上 幹夫
委員 前田 俊基
委員 野名 澄代
委員 坂口 洋